



2026年10月22日

各 位

株式会社HODL1
代表取締役CEO 田原 弘貴
(証券コード: 2345 東証スタンダード市場)
(お問合せ先) 取締役CSO 田中 遼
電話番号 03-6427-7380 (代表)

Babylon Labs 「Trustless Bitcoin Vaults」 国内パートナー参画に関するお知らせ

当社は、Babylon Labs Ltd. (以下「Babylon Labs」といいます。) のパートナーとして、同社が提供するTrustless Bitcoin Vaults (以下「TBV」といいます。) の日本国内展開に参画いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1 パートナー参画の概要

当社は、Babylon Labsが開発・運営するネイティブビットコインを担保とした自己管理型金融インフラであるTBVの、日本市場向けパートナーとして参画いたしました。

TBVは、ネイティブビットコインの所有権を手放すことなく、ブロックチェーン上の金融サービス (借入等) にアクセスできる仕組みです。従来、ビットコインを担保として活用するにはその多くが第三者への預託が必要でしたが、TBVではその必要がなく、預け先の破綻リスクが構造上発生しないものです。

TBVは、2026年第4四半期にメインネットでのサービス開始が予定されています。最初の統合先には、世界最大級のDeFi (分散型金融) レンディングプロトコルであるAaveのV4が予定されており、この統合については、現在、AaveのガバナンスプロセスであるARFC (Aave Request for Final Comment) において、承認に向けた議論が行われています。TBVは、BTCFi (ビットコインを活用した分散型金融) の中核インフラとなることが期待されています。

当社は、日本国内のビットコイン保有企業に対しTBVの導入検討から利用までを一貫して支援してまいります。

2 両社CEOのコメント

Babylon Labs 共同創業者兼CEO Fisher Yu氏

保有者に資産の管理権を手放させることなく、ビットコインをより生産的に活用できる

大きな機会があります。Trustless Bitcoin Vaultsによって、私たちはビットコインを唯一無二の存在たらしめている原則を守りながら、ビットコインがオンチェーン市場により深く参加できるインフラを構築しています。HODL1の参画は、このビジョンを日本市場にもたらすための重要な一歩です。

株式会社HODL1 代表取締役CEO 田原 弘貴

TBVは、ビットコインの所有権を手放すことなく、イーサリアム上の金融インフラで活用する道を開くものです。当社はイーサリアムカンパニーとしての知見を生かし、国内のビットコイン保有企業の皆さまの導入を支援するとともに、ビットコインとイーサリアムをつなぐ金融インフラの普及に貢献してまいります。」

3 Babylon Labsについて

Babylon Labsは、ネイティブビットコインをブロックチェーン経済圏の基盤資産として活用するためのインフラを開発する企業です。ビットコインのネイティブステーキングプロトコル及びTrustless Bitcoin Vaults(TBV)を開発・運営しています。a16z cryptoをはじめとする世界有数の投資家から出資を受け、Aave、Ledger、GoMiningなどグローバルな主要プロジェクトとの連携を進めています。同社のステーキングプロトコルは100億米ドル（約1.5兆円）超相当のネイティブビットコインをアクティベートした実績があり、BTC Fi領域をリードする存在となっています。

詳細は <https://babylonlabs.io> をご覧ください。

なお、本件が当社の業績に与える影響は軽微です。

以上